

She hardly speaks English, so... ?

(彼女の英語をどうしよう)



娘はいつも話題の的だ。'What's your daughter's name? Lovely! What does it mean?' (お名前は?どんな意味?) 'Do you have her photo? Let me see... Oh, she's such a sweetie!' (写真みせて。かわいい!)。メールでは'Say hello to Yuriko'と添えてくれたり。

私も'Now show me your photos. Oh, she's adorable.'と写真を見せてもらう。久しぶりのお客様なら、'How's he doing?'. この'she'や'he'は家族、恋人、時にはペットの犬だったりするのだけど、「あなたの大切な人も共に幸せであってね」と言葉にしてcasualに伝え合うこの習慣が、とても好きだ。そう、あくまでカジュアル。だからひとしきり写真を見せ合ったら他の話題に移るのだけど、ある時、話は娘の英語に及んでしまった。

Does your daughter speak English, too? (お嬢さんも英語できるのでしょ?)。'Not at all..! (全然...)'と言うと、'Why not? You should talk to her in English.' (あら、英語で話しかけたらいいのに)と驚かれる。実は一時期ちょっとやってみただけで、「ママ、わからない。日本語で話して!」と拒まれ断念した。

なにしろ環境が環境だ。のどかな郊外の住宅地、お友達も家族もみな日本人で、ちびまる子ちゃんみたいなauthentic Japanese lifestyleを送っているのだもの。She hardly gets chances to use it unless somebody speaks to her in English. 普通にしたら英語とは無縁の世界!である。

さらに突っ込まれる。'Then where did you pick up such good English?' (なら、あなたはどこで英語を学んだの?)と。'Well, I'm trained everyday. I have little experience studying abroad but I do OK now. When you really need it you get it somehow, you know... My daughter will be fine.' (仕事で日々鍛えられてるわ。だから娘も何とかなるかなあ。)

先日、上海から来たお客様はこう言った。'The advantage of speaking English

is that I can travel to most towns on my own, except for Egypt... I don't like to be in large groups. Oh, Akko, if I go to Mt. Fuji with my friend, can we travel by train?' (英語が話せれば、大抵の都市に一人で行けるわ。団体と違って自由が利く。エジプトは難しいけどね。ところで、富士山って電車で行ける?) 複数言語を華麗に操り国際ビジネスをこなす彼女は、昨年会ったときはニュージーランドの大学生だった。ふと、将来の娘の姿と重なる。



ある日、娘が単語帳を見せてくれた。めくってみると、鉛筆でtable, chair, moonと表に英語が、裏に日本語で意味が書かれている。「ママが通訳のお仕事してるから、少しはわかるよ。英語はママに聞けばいいね。シンガポールの人のお仕事ついて行ったとき、「タンキュー」って言ってた子がいたよ。ありがとうって言ってたんだよね。」

I was impressed she remembered it. (覚えていたなんて。)

月のきれいな夜があった。「ねえ、お月様が丸いよ。いつ満月になるのかな?」と聞くので、iPad(※1)を開き、Googleで'moon calendar'と検索。すると、月の満ち欠けのサイトが幾つもでてくる。'northern hemisphere'を

選択すると北半球で見える月の姿が、'southern hemisphere'に切り替えると南半球の月の姿が、月毎にリアルタイム表示される。これには娘も感激。翌々日、夜空にきらきらのfull moonが現れた。

'OK, so I can gradually combine English with her daily life...' (なるほど、日常に少しずつ英語を組み込んでいこう)と思った私は、娘のお気に入りのDVD『となりのトトロ』の音声を、英語に切り替えてみた。タイトルは'My neighbor Totoro'、主題歌の「あるこ、あるこ♪」は、「Hey, let's go, hey, let's go ♪. Seems she's entertained. よかった。

次いでYouTubeで'My neighbor Totoro + interview'を検索、女優のファニング姉妹がvoice actress(声優)に挑戦しているメイキング映像を見せる。'You see, Totoro is so fantastic that it's translated to many different languages...isn't it lovely?' (トトロが外国語でも観られる。ステキでしょう。) Then she got spontaneous. 「ママのiPad貸して。Dora(※2)やってみたい。」

このiPad、つくづく買ってよかった。My best high-tech gadgetry, ever. きれいで、軽くて、視野角が広くて、一緒に楽しむ用に作られていて、そう、たとえば休日の朝、コーヒーを淹れ、ビートルズを流しながら、ネットサーフィンして、ここいいね、出かけよ、みたいなシチュエーションを、限りなく愛おしいものにしてくれること、間違いなし☆

※1 iPad2を購入。クラッチ(clutch bag)感覚で携帯できて、移動が楽に。この文章もiPadで。

※2 DORA the EXPLORER(ドーラといっしょに大冒険): 本来ヒスパニック移民の子もた方向けの、キュートな英語学習コンテンツ。